部署紹介
SP・メディア技術第１部

Challenging Tomorrow's Changes

部長メッセージ



情報通信事業グループ
SP・メディア本部
SP・メディア技術第１部
部長　森本　伸司

個のスキルを尊重し、組織で高め合う。
“鉄板の技術”に”新技術への挑戦”を掛け合わせ、唯一無二のエンジニアへ。

当部のミッションは、ISPや放送業界といった「止まることが許されない」社会基盤を、技術の力でより強固にすることです。

現在はインフラの維持だけでなく、AIやセキュリティ高度化、液浸液冷といった新技術への挑戦が不可欠なフェーズにあります。
前例のない課題に対しても「まずはやってみよう」と楽しめる方、
そして提案から導入まで、自らの手でプロジェクトを完遂させたいという熱意を持つ方を求めています。
決して楽な環境ではありませんが、その分、確実に力がつきます。

SP・メディア技術第１部の組織構成

SP・メディア技術第１部

社員数： 30名　外部人材： 50名

顧客領域	ISP・CATV・放送業を営む法人
ビジネスモデル	提案活動：30% 開発・SI：60% 保守　　：10%
規模/1案件あたり	1人月～500人月/件 ※小規模から大規模まで幅広い
人数/１案件あたり	数名～数十名/案件
年齢構成	20代：40%　40代　　：20% 30代：30%　50歳以上：10%
新卒中途割合	新卒：60%　中途40%

- **メディアサービス技術第１課**
  - 主にCATV、放送、メディア事業にかかわるサーバインフラ技術担当
- **メディアサービス技術第２課**
  - 主に各種サービスプロバイダ事業にかかわるサーバインフラ技術担当
- **メディアサービス技術第３課**
  - 本部テリトリーにおけるアプリケーション開発技術および新サービス担当

部の特徴や注力していること

1. 【部の特徴】

当部では、ISP・CATV・放送メディア業界のお客様に対し、
提案活動から設計・構築まで一貫したシステムインテグレーションを担っています。
スキル領域は、物理レイヤーから、クラウド、仮想化、ミドルウェア、アプリケーション開発まで幅広くカバーしています。

案件規模は非常に幅広く、例えば以下のような実績があります。
・約1,000万加入者向けの大規模DHCP基盤
・1日数TBのログを処理するSIEM基盤
・単体サーバ導入などの小規模案件

小規模～大規模まで多様なプロジェクトに関わることができ、様々なスキル領域を横断した実践経験を積むことが可能です。

昨今はクラウドシフトやAI、セキュリティ高度化の案件が増えていますが、ミッションクリティカルな要件を満たすためのオンプレミス構築も根強く、双方の知見を深められる環境です。

プリセールスの機会も多く、営業同行、提案書作成や顧客へのプレゼンテーションなど、上流工程から関与できます。

SP・メディア技術第１部の特徴・注力ポイント

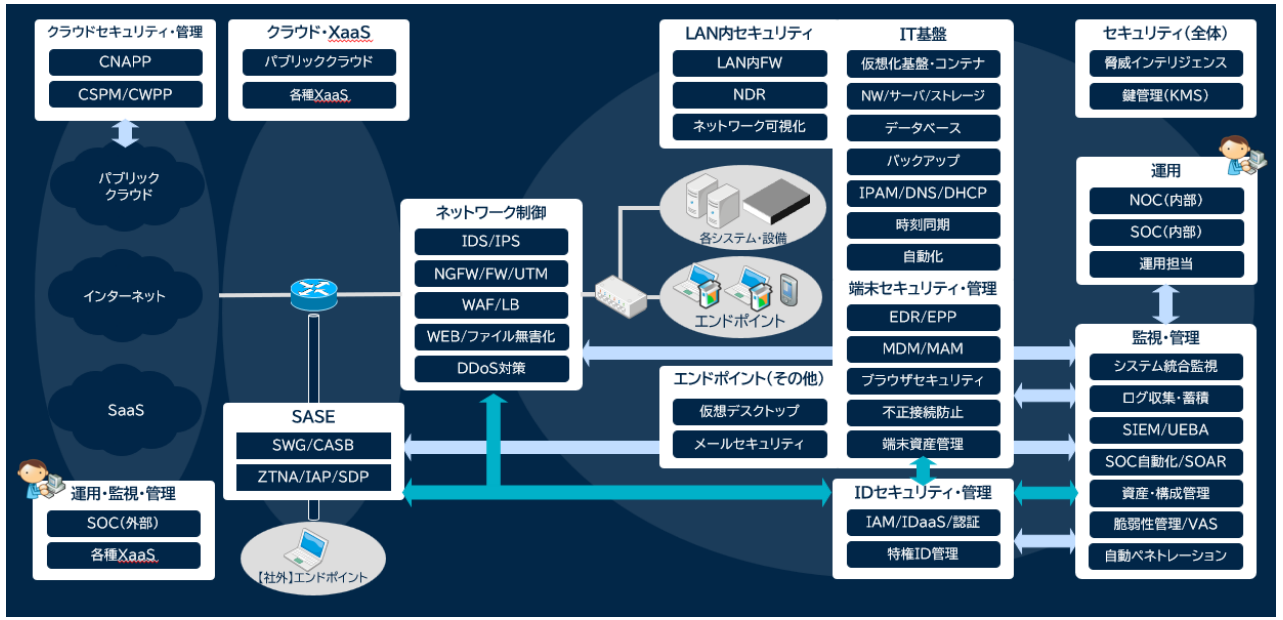
部の特徴や注力していること

2. 【注力ポイント】

当部では以下の領域に重点的に取り組んでいます。

・プロジェクトマネジメント（大規模案件の推進）
・インフラ（サーバ／ストレージ／仮想化 等）
・パブリッククラウド
・アプリケーション開発
・各種ミドルウェア（データベース／バックアップ 等）
・セキュリティ（SIEM／認証認可／特権管理 等）
・AI活用（運用高度化・自動化領域）
・運用監視（O11y／NOC・SOC領域の高度化）

近年取り組んできた技術領域と提案導入実績



特にセキュリティの高度化およびAI領域については、顧客ニーズが高まっており、
新たな知見を共に積み上げていただける方を求めています。

SP・メディア技術第１部で得られる経験／目指せるキャリア

当部ではこんな経験を積むことができます。

1.【チームのカルチャーと働き方】

当部は、変化の中で自ら価値を発揮できる環境です。

・扱う商材が多く、「初めての提案」も多く発生する
・新規商材はベストプラクティスが無いことも多く、自分たちで考えて進める場面が多い
・他部署やベンダーを巻き込みながら進めるプロジェクトが中心

そのため、

「決まった作業をこなす」のではなく、
「どうやるべきかを考える」機会が非常に多い環境です。

メーカー／ベンダーによる新規商材の勉強会、様々な技術要素の部内ナレッジ共有を行い、日々新しいものに触れながら過ごしています。

また働き方としては、
・プロジェクト状況に応じた柔軟な働き方（出社／リモート）
・顧客対応を重視した行動（現場志向）

が基本となります。

「楽な環境」ではありませんが、その分、成長できる機会が多い環境です。

SP・メディア技術第１部で得られる経験／目指せるキャリア

当部ではこんな経験を積むことができます。

2. 【当部で描ける5年後のキャリア】

① プロジェクトマネージャー

・数十～数百人月規模の案件を統括
・複数プロジェクトを横断したマネジメント
・顧客との上流折衝・提案をリード

「案件を取れるPM」「任せられるPM」へ

② アーキテクト／テクニカルリード

・様々な技術要素を横断した設計
・全体最適の観点での技術選定
・難易度の高い案件での技術意思決定

「技術で案件をリードできる人材」へ

③ スペシャリスト

・IaCを用いたクラウド技術の専門性深化
・AIを活用した運用自動化
・ログ分析／ナレッジ活用基盤の設計

市場価値の高い専門人材へ

④ プリセールスエンジニア

・顧客課題の整理～解決策の提案
・提案書作成／プレゼンテーション
・新規ソリューションの発掘

「技術がわかるプリセールスエンジニア」へ

SP・メディア技術第１部で働くキャリア入社者の声

キャリア入社者の声

30代前半、プロジェクトリーダー・中途入社6年目

提案領域が広いCTCは、技術力も高かった。
優秀な人の圧倒的な努力量に、刺激を受ける日々。

入社前のイメージの通り、さまざまな製品や技術を取り扱っているCTCでは、顧客の多様なニーズに対応できます。また、幅広いソリューションを扱えるだけでなく、それぞれの分野で高い技術力と知見を持ったエンジニアが多いことにも驚かされました。特に、一緒に働くエンジニアやPMから学ぶことは非常に多いです。
CTCでは、経験したことのない技術案件でも「やってみたらどう？」と任せてもらえるので自然と技術の幅が広がり、以前より自信が持てるようになりました。
入社してみて驚いたことは、努力を惜しまず学び続けている人が多いこと。役職者であってもプレイングマネージャーとして手を動かし、さらに多忙な中でも最新技術の勉強を欠かすことがありません。圧倒的な知識量は、日々の努力に裏打ちされたものだと知り、毎日刺激を受けています。

✓技術力　✓チャレンジ　✓成長実感

20代後半、エンジニア・中途入社2年目

周囲のレベルが高く、自分の手で技術を選べる環境。
前職のSIerでは得られなかった成長実感がある。

前職もSIerでしたが、技術選定はすでに決まっていることが多く、自分はそれを使って構築するだけという状況でした。「もっと技術力を磨きたい、上流の選定から関わりたい」と思ったのが転職のきっかけです。
CTCに入って一番感じるのは、周囲のエンジニアのレベルの高さです。
AWSを中心としたクラウド案件に携わっていますが、日々のレビューや会話の中で学びが多く、自然とスキルが引き上げられる感覚があります。
実際に、入社して間もない新規案件でインフラ構成を自分から提案する機会をもらえたのは大きかったです。前職では考えられなかったことで、手を挙げればちゃんと任せてもらえる環境だと実感しました。
職場の雰囲気もフラットで話しやすく、先輩にも気軽に相談できます。
技術を軸に成長したいエンジニアにはとても合う会社だと思います。

✓クラウド　✓成長実感　✓働きやすい